

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成30年03月30日

計画の名称	岩倉市における下水道の安全安心基盤整備（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）										重点配分対象の該当	○	
交付対象	岩倉市												
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>雨水調整池の設置で浸水被害常襲区域の都市浸水の解消を図り、水害に強い安全・安心なまちづくりを推進する。</li> <li>下水道整備における地域再生の途上にあることから、さらなる生活環境の向上のため、良好な水環境整備に努め、質的に充実した「成熟した都市型社会」の形成を目指す。</li> </ul>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	389	A	385	B	0	C	4	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	1.02	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値	最終目標値 (R2末)
1	岩倉市における都市浸水対策整備進捗率を14.8%（H28年度当初）から21.6%（R2年度末）へ拡大。 岩倉市下水道（雨水）整備計画に定めた都市浸水対策として実施すべき区域のうち、整備が完了している区域の割合。 都市浸水対策整備進捗率（%）＝（整備が完了した区域（ha） / （岩倉市下水道（雨水）整備計画に定めた都市浸水対策として実施すべき区域（ha）） ※都市浸水対策として実施すべき区域の対象降雨規模：10年確率	15%	%	22%
2	岩倉市における雨水貯留施設整備進捗率を20.3%（H28年度当初）から31.1%（R2年度末）へ拡大。 岩倉市下水道（雨水）整備計画に定めた都市浸水対策として実施すべき調整池容量のうち、整備が完了している調整池容量の割合。 雨水貯留施設整備進捗率（%）＝（整備が完了した調整池容量（m3） / （岩倉市下水道（雨水）整備計画に定めた都市浸水対策として実施すべき調整池容量（m3））	20%	%	31%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	岩倉市	直接	岩倉市	管渠（ 雨水）	新設	大矢公園調整池（浸水対 策）	貯留量 2,250m3	岩倉市	■					20	—	
	A07-002	下水道	一般	岩倉市	直接	岩倉市	管渠（ 雨水）	新設	五条川小学校調整池（浸 水対策）	貯留量 1,850m3	岩倉市			■	■	■	365	—	
											小計						385		
											合計						385		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	C07-001	下水道	一般	岩倉市	間接	民間	—	—	雨水流出抑制施設	浄化槽転用 2基/年 雨水貯留槽 16基/年	岩倉市	■					1	—	
	雨水の流出抑制及び有効利用を図るため、雨水貯留施設等を設置する個人に対し助成する。																		
	C07-002	下水道	一般	岩倉市	間接	民間	—	—	雨水流出抑制施設	浄化槽転用 2基/年 雨水貯留槽 16基/年	岩倉市			■	■	■	3	—	
	雨水の流出抑制及び有効利用を図るため、雨水貯留施設等を設置する個人に対し助成する。																		
											小計						4		
											合計						4		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29	H30	H31	R02
配分額 (a)	9	0	9	108	29
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	9	0	9	108	29
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	0	108
支払済額 (e)	9	0	9	0	137
翌年度繰越額 (f)	0	0	0	108	0
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	0
不用額 (h = c+d- e- f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 岩倉市における下水道の安全安心基盤整備（防災・安全）（重点計画）

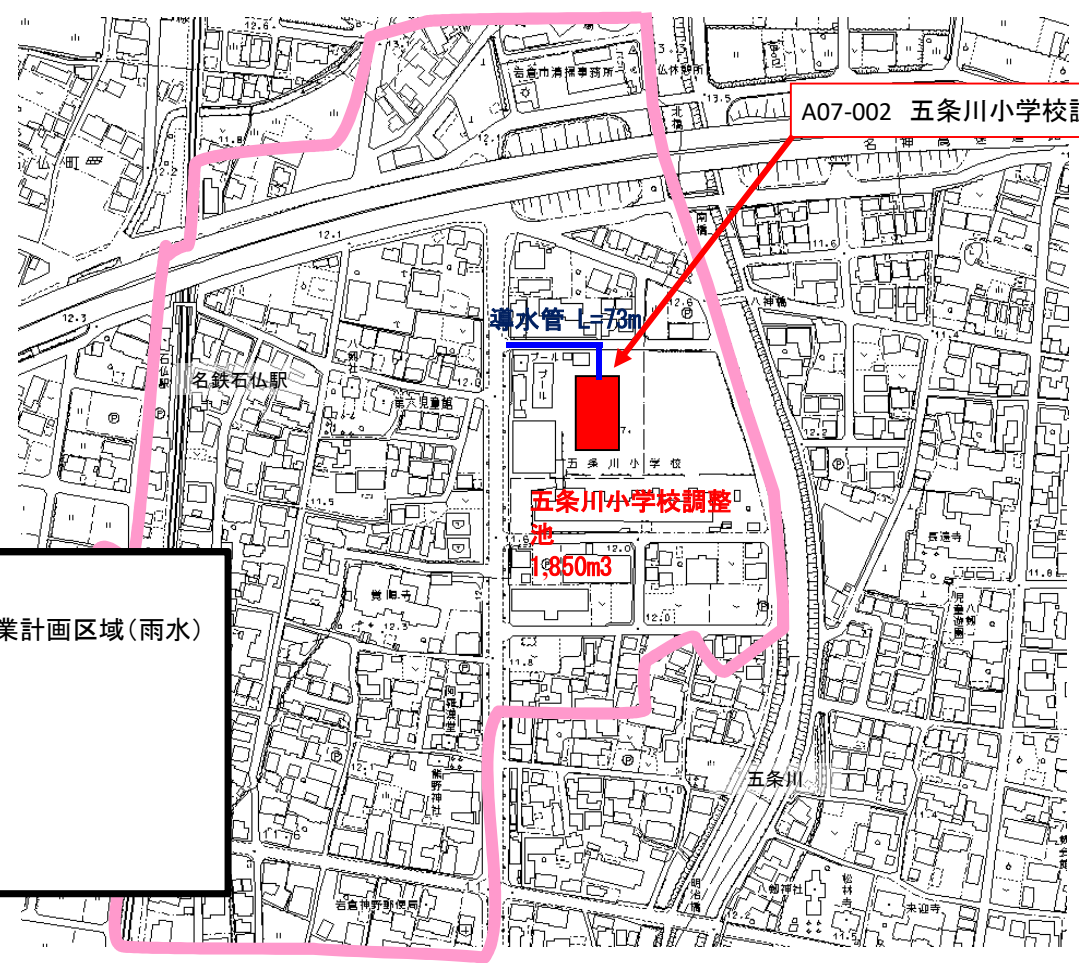
事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画（社会資本整備重点計画、新川流域水害対策計画）と適合している。	○
I. 目標の妥当性 五条川右岸流域関連岩倉公共下水道事業計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性 関連する他事業の計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性 各種事業計画が策定され、適合している。	
I. 目標の妥当性 各種法令（都市計画法、下水道法等）を遵守している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題と整備計画の目標の整合が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	
III. 計画の実現可能性 長期的収支計画の見通しが健全と判断される。	○
III. 計画の実現可能性 関係機関との協議、住民等の合意形成等を踏まえて事業実施の確実性が高い。	○
III. 計画の実現可能性 その他、事業実施のための環境整備が図られている。	○






# 交付対象事業の概要図面（防災・安全交付金）

計画の名称	1 岩倉市における下水道の安全安心基盤整備（防災・安全）（重点計画）	交付対象	岩倉市
計画の期間	平成28年度～令和2年度（5年間）		

## 岩倉市神野町外1地内



A07-002 五条川小学校調整池(浸水対策)

-  :下水道法による事業計画区域(雨水)
-  :調整池
-  :導水管

# 交付対象事業の概要図面（防災・安全交付金）

計画の名称	1 岩倉市における下水道の安全安心基盤整備（防災・安全）（重点計画）	交付対象	岩倉市
計画の期間	平成28年度～令和2年度（5年間）		

